JAPANESE

RISE Program

Ryukyus International Student Exchange Program

University of the Ryukyus / 2025-2026

Contact Address:

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
Global Education Section
1 Senbaru Nishihara Okinawa JAPAN
903-0213

Email:
inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp

Web:
https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/

CONTENTS

01. 沖縄県と琉球大学 p.4

02. 短期交換留学プログラム p.10

03. コース紹介 p.13

04. 出願手続き p.22

05. 奨学金制度 p.24

06. 学生生活 p.26

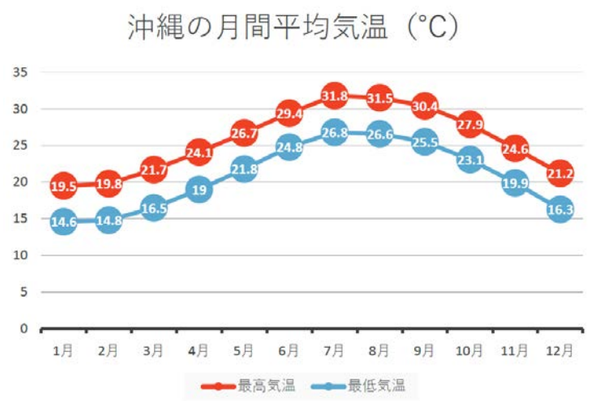
交流協定校一覧 p.29

01. 沖縄県と琉球大学

沖縄県

沖縄県は、日本の南方海上の広い範囲にある大小 691 もの島々から成り立っており、その中心的な島である沖縄本島には、約 140 万人の人々が住んでいます。古くは琉球と呼ばれ、中国、東南アジア、オセアニア等と親密な交流を行ってきたこともあり、独自の豊かな文化、芸能、工芸、祀り事、伝統料理などを発展させ、築きあげてきました。現在も、歴史的・地理的資源を活かしてアジアや太平洋地域との経済・文化・教育等の交流を推進しており、日本における南の玄関口として、国際交流の重要な役割を果たしています。

日本で唯一 亜熱帯地域に属する沖縄県は、夏と冬、昼の夜の気温差が比較的小さく、年間を通して温暖な気候です。色とりどりの季節の花々が咲き誇り、エメラルドグリーンの海、白い砂浜、珊瑚礁、沖縄固有の動植物が生息する豊かな自然環境は国内外から注目を集めており、国際的な観光地として観光客も年々増加しています。



琉球大学

琉球大学は、第二次世界大戦の敗戦によって、沖縄県の治権がアメリカ合衆国の統治下にあった1950年5月に創立されました。1972 年 5 月、治権が日本に返還されたことに伴って国立大学へと移管され、現在に至っています。

学部・研究科

琉球大学には 7 つの学部と 8 つの研究科があり、約 8,000 人の学生が在籍しています。その他、附属図書館、病院、国際教育センター、熱帯生物圏研究センター、大学教育センター、生涯学習教育研究センター、亜熱帯フィールド科学教育研究センター、附属中学校、附属小学校等の施設があります。

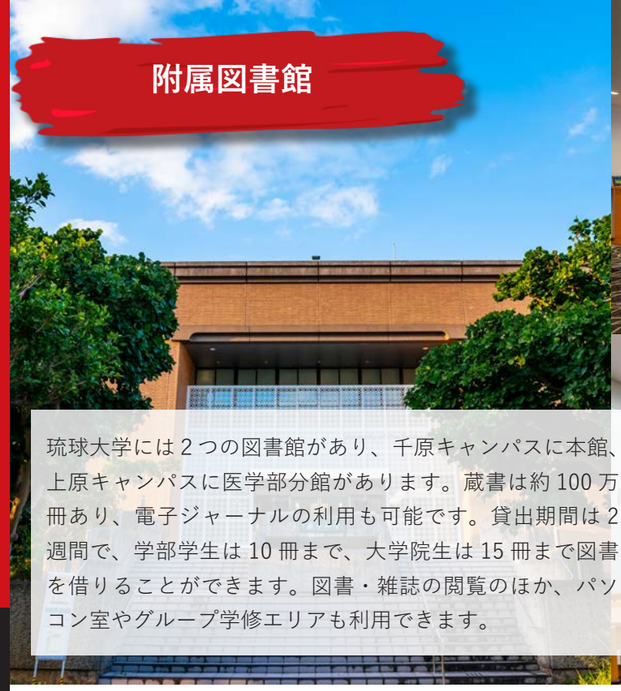
国際教育センター

より充実した留学生活を送ってもらうため、国際教育センターでは日本語を勉強するための授業や、日本・沖縄の歴史や文化を学ぶための授業を提供するほか、日本での就職を目指す学生のためのキャリアカウンセリングも実施しています。

短期交換留学プログラムの学生のうち、大部分の学生は国際教育センターの所属となります。コースによる受入部局の違いについては、13 ページを確認してください。

- 人文社会学部・人文社会科学研究科
- 国際地域創造学部・地域共創研究科
- 教育学部・教育学研究科
- 理学部・理工学研究科（理学系）
- 医学部・医学研究科・保健学研究科
- 工学部・理工学研究科（工学系）
- 農学部・農学研究科
- 法務研究科

附属図書館



琉球大学には２つの図書館があり、千原キャンパスに本館、上原キャンパスに医学部分館があります。蔵書は約 100 万冊あり、電子ジャーナルの利用も可能です。貸出期間は２週間で、学部学生は 10 冊まで、大学院生は 15 冊まで図書を借りることができます。図書・雑誌の閲覧のほか、パソコン室やグループ学修エリアも利用できます。

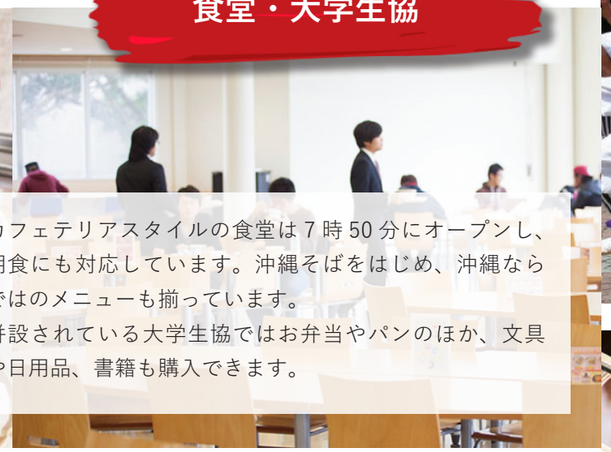
開館時間

３月は休館です

通常期：（月～金）8：00 ～ 21：40　（土・日・祝日）10：00 ～ 20：00
休業期（春季・夏季・冬季）：10：00 ～ 20：00

食堂・大学生協

この組み合わせで約 700 円！



カフェテリアスタイルの食堂は７時 50 分にオープンし、朝食にも対応しています。沖縄そばをはじめ、沖縄ならではのメニューも揃っています。
併設されている大学生協ではお弁当やパンのほか、文具や日用品、書籍も購入できます。

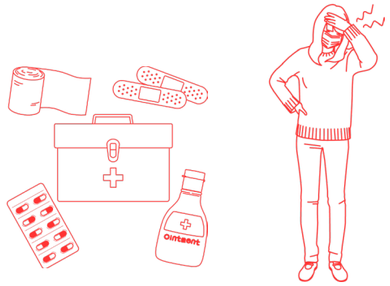
営業時間

	月曜日～金曜日	土曜日	日曜日
食堂（中央店）	11:50 ～ 18:45	11:30 ～ 14:30	休み
食堂（北店）	11:30 ～ 13:30	休み	休み
生協中央店	8:00 ～ 18:00	休み	休み
生協購買部　北店	10:00 ～ 17:00	休み	休み
医学部売店	8:00 ～ 18:00	休み	休み

保健管理センター

風邪などの日常的な病気や軽い怪我については、学内の保健管理センターで簡単な治療を受け、薬をもらうことができます。重篤な症状でなければ、まず同センターに相談し、担当医又は看護師の助言を受け、必要があれば病院への紹介状を書いてもらうことができます。

定期的に留学生に対して健康診断を実施しているほか、常時、健康に対する助言、カウンセリングも行なっています。

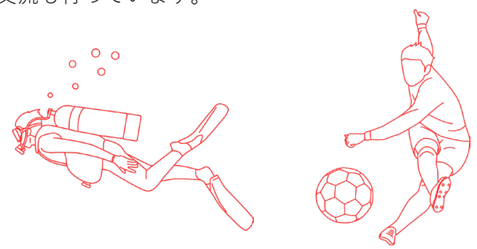


課外活動

琉球大学では、さまざまな学生団体が課外活動を行っています。

スポーツについては、柔道や剣道、空手、弓道、サッカー、ラグビーなど約 60 の体育系サークルがあり、定期的に練習や試合などを行なっています。また、沖縄の伝統芸能を学んだり、写真や音楽などの趣味的分野を楽しんだりするための約 50 の文化系サークルがあります。
これらのサークルでは留学生の参加を歓迎しており、留学生と日本人学生との交流の場として活用されています。

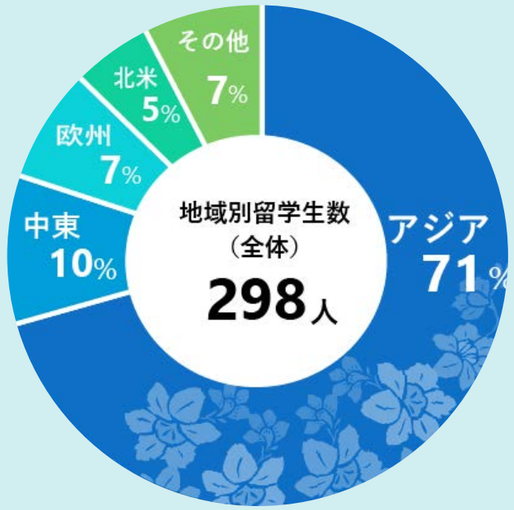
サークル活動以外にも、学外見学や留学生まつりなど様々なイベントが企画されており、地域との交流も行っています。



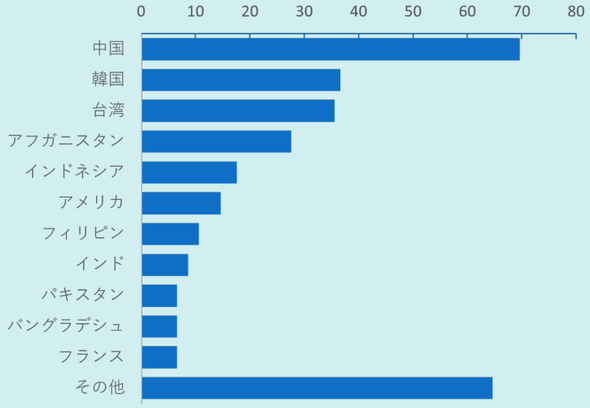
大学のイベント		地域のイベント
新入生オリエンテーション（4月入学） 健康診断（4月入学） **前学期（春学期）授業開始**	4	海開き
体育祭 開学記念日	5	那覇ハーリー ＊ハーリー：ボートレース
	6	エイサーナイト（沖縄市） ＊エイサー：沖縄の伝統的な踊り
グローカルフェスティバル オープンキャンパス	7	海洋博公園花火大会（本部町） ピースフルラブ・ロックフェスティバル（沖縄市） シーポートちゃたんカーニバル（北谷町）
（上旬）期末試験 （中旬）夏休み開始 **（下旬）短期交換留学修了式**	8	一万人のエイサー踊り隊（国際通り） 沖縄全島エイサーまつり（沖縄市）
（下旬）後期授業登録 （下旬）琉大祭	9	糸満大綱引き（糸満市）
新入生オリエンテーション（10月入学） **後学期（秋学期）授業開始**	10	那覇大綱引き（那覇市） 中城護佐丸祭り （中城城跡）
健康診断（10月入学）	11	沖縄国際カーニバル（沖縄市） やちむん通り祭り（那覇市） ＊やちむん：沖縄の焼き物
グローカルフェスティバル	12	いとまんピースフルイルミネーション（糸満市）
	1	首里城公園 新春の宴（那覇市）
（上旬）期末試験 （中旬）春休み開始 **（下旬）短期交換留学修了式**	2	那覇さくらまつり（那覇市）
春休み	3	東村つつじ祭り（東村）

※上記は過去の参考情報のため、開催・実施がないこともあります。

留学生数（2023年5月1日現在）



国別留学生数（全体）



※その他：

（アジア）　ベトナム　モンゴル　スリランカ　タイ　マレーシア　ミャンマー　ラオス　ネパール　モルディブ　香港

（中東）　イラン　シリア

（欧州）　イタリア　スペイン　スウェーデン　ドイツ　ウクライナ　スイス　ポルトガル　ルーマニア

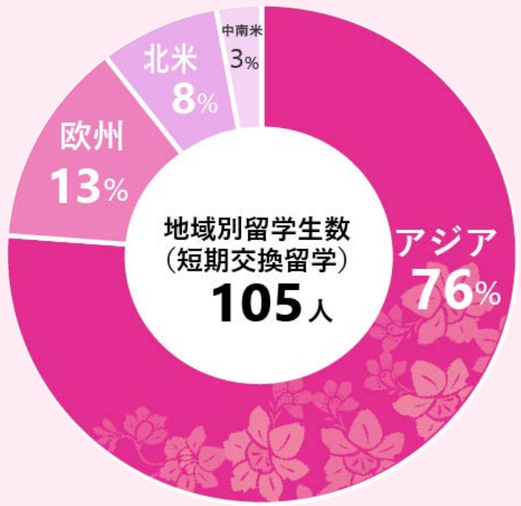
（北米）　カナダ

（中南米）　アルゼンチン　ドミニカ共和国　ブラジル　ペルー

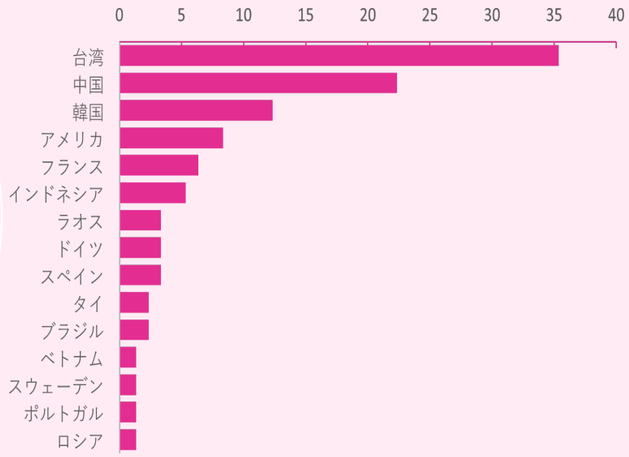
（アフリカ）　ナイジェリア　ニジェール　エジプト　エリトリア　カメルーン　ケニア　シエラレオネ　タンザニア　トーゴ　ベナン

（オセアニア）ソロモン諸島　トンガ　パラオ共和国　マーシャル諸島共和国

短期交換留学生数（2023年度）



国別留学生数（短期交換留学）



02. 短期交換留学プログラム

目的

琉球大学短期交換留学プログラム（RISE プログラム）は、琉球大学と学生交流協定を締結している大学から留学生を受け入れるプログラムであり、留学生は琉球大学が提供する科目を受講したり、研究等を行ったりすることができます。このプログラムにより、琉球大学の学生との交流を深めることができ、沖縄と日本の習慣・文化等も学ぶことができます。
また、将来、大学院への進学や研究員として再び日本へ訪れるきっかけになるものと期待されます。

受入コース

1. 日本・沖縄学習コース
2. グローカルリーダー育成コース
3. 日本語教員養成コース
4. 学部専門／大学院専門コース

入学時期・受入期間

4 月入学の場合：
(1) 4 月から 8 月（春学期のみ）の約半年
(2) 4 月から翌年 2 月（春学期及び秋学期）の約 1 年

10 月入学の場合：
(1) 10 月から翌年 2 月（秋学期のみ）の約半年
(2) 10 月から翌年 8 月（秋学期及び次年度の春学期）の約 1 年

出願資格

応募者は、以下の要件を満たす必要があります。

1. 琉球大学と学生交流協定等を締結している大学、UMAP 又は ISEP に加盟している大学に正規課程の学生として在籍している者。

2. 留学開始時点で 4 年制大学において 2 年次以上の学部学生又は大学院学生であること。短期大学の場合は最終学年の学生であること。

3. 各コースが求める語学要件を満たす者。

4. 外国籍を有している者。

注意！

留学期間中は派遣元大学に在籍している必要があります。**期間中に卒業しないよう**留意してください。

在籍身分

学部専門／大学院専門コースでは、学部学生は特別聴講学生、大学院学生は特別研究学生として受入れます。
それ以外のコースでは、派遣元大学での身分にかかわらず特別聴講学生として受入れます。

授業料

琉球大学と授業料相互不徴収協定を締結している大学等に在籍している学生で、この協定に基づき推薦された学生は、検定料・入学料・授業料が免除されます。

成績評価

(1) 成績は、A, B, C, D, F の 5 段階で評価されます。F 評価の場合は、単位は修得できません。
　※成績評価基準：90 点以上 A、80 点以上 B、70 点以上 C、60 点以上 D、59 点以下 F
(2) 留学期間中に修得した単位については、琉球大学がこれを認定し成績証明書を発行します。
(3) 琉球大学の発行した成績証明書に基づき、留学生の派遣元大学において単位の認定が行われます。
(4) 琉球大学で修得した単位を認定するか否かの判断は、派遣元の大学に委ねられます。

Pickup

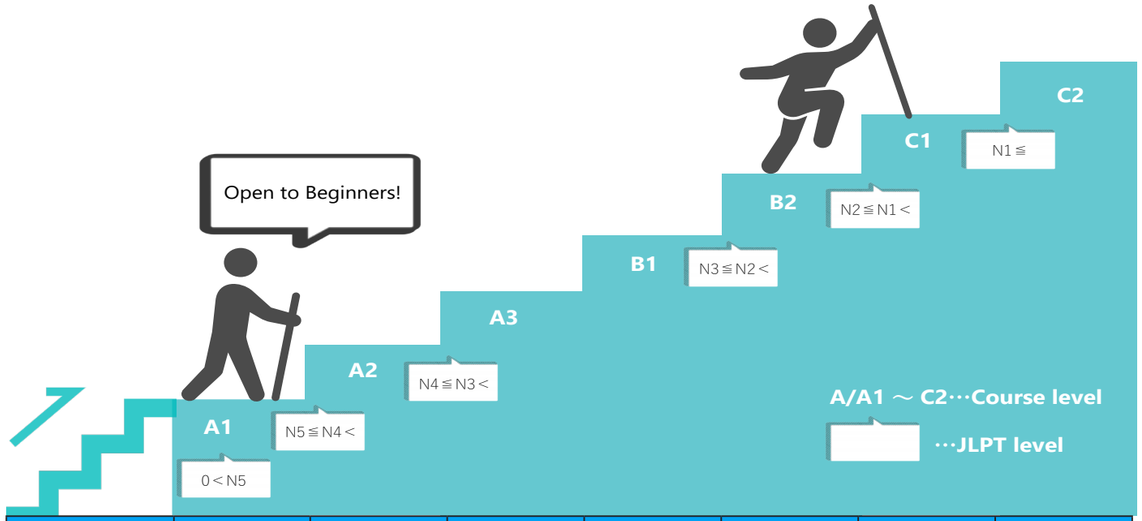
グローカルフェスティバル

留学生と日本人学生および地域の方々の深い交流を目指したお祭りです。交換留学生にとっては自国の文化を紹介する場となります。多彩で多様な交流を楽しみましょう！

Pickup

日本語科目の組み合わせは自由！　自分のレベルに合った授業を選べます

日本語科目はスキル別・レベル別で開講されるため、勉強したいスキルごとに自分の語学レベルに合わせて授業を組み合わせることができます。
最適なレベルの授業を選ぶため、国際教育センターの教員が学生にアドバイス（履修指導）を行います。



レベル／スキル	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2
	A						
総合的なスキル	日本語A1	日本語A2		日本語B1	日本語B2		アカデミック日本語C2
	日本語A						
読むスキル			聴読解A3	読解B1	読解B2	読解C1	読解C2
聞くスキル				聴解B1	聴解B2	聴解C1	聴解C2
書くスキル			作文A3	作文B1	作文B2	アカデミック日本語C1	
話すスキル			会話A3	会話B1		会話C1 口頭表現C1	会話C2 口頭表現C2
文法		文法A2					文法C2
	文法A						

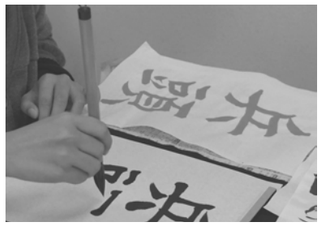
＊年度によって開講されない科目がある場合があります。

初級レベルの学生は、総合的なスキルを学ぶ「日本語 A ～ A2」で日本語の基礎を身につけることができます。

スキル別授業の他にも、漢字を勉強する授業や、就職のためのビジネス日本語を勉強する授業があります。

03. コース紹介

琉球大学短期交換留学プログラムには４つのコースがあります。交換留学希望者は、留学目的に応じていずれか１つのコースに申請することができます。入学後のコース変更は認められませんのでよく考えて選んでください。



日本・沖縄学習コース　【受入れ先：国際教育センター】

留学の目的：日本語、日本・沖縄の歴史や文化を学びたい
履修する主な科目：日本語、歴史・文化系科目
語学要件：なし（日本語または英語で日常会話レベルのコミュニケーションが取れることが望ましい）

グローカルリーダー育成コース　【受入れ先：国際教育センター】

留学の目的：日本語学習に加え、日本人学生との共修を通して地域社会・国際社会の課題を解決する力を身につけたい
履修する主な科目：グローカル実践演習、ビジネス日本語
語学要件：日本語または英語で日常会話レベルのコミュニケーションが取れること（CEFR A2 相当以上）

日本語教員養成コース　【受入れ先：国際教育センター】

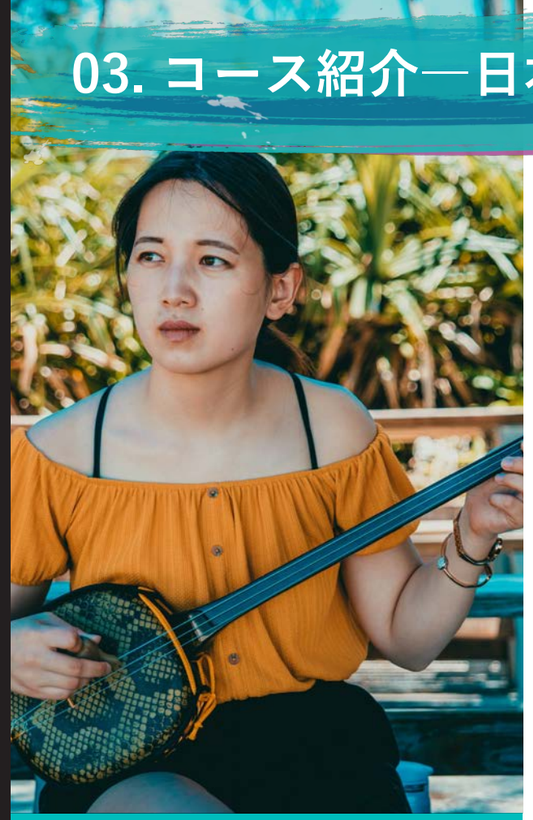
留学の目的：日本語を外国語として教えるための勉強がしたい
履修する主な科目：日本語学概説、日本語教授法
語学要件：（日本語）JLPT N2 以上　　（英語）なし

学部専門コース／大学院専門コース　【受入れ先：各学部・各研究科】

留学の目的：自分の専門分野について研究したい
履修する主な科目：各学部・各研究科の専門科目
語学要件：原則として JLPT N2 以上

▶ 特に所属大学で日本語を専攻している学生で、より高度な日本語力を修得したい方のために、学部専門コースにも「日本語・日本文化研修コース」が設けられています。

03. コース紹介―日本・沖縄学習コース



日本や沖縄の歴史・文化を学びながら、日本語科目を履修し、日本語能力を伸ばしたい学生向けのコースです。

世界各国からの留学生と共に学び、様々な言語や考え方に接することで、異文化コミュニケーション能力を伸ばすこともできます。日本語科目は初級から上級までレベルがあり、4技能を伸ばす総合日本語クラスやスキル別（読む･聞く･話す･書く）に提供されるクラスがあります。日本語専攻の学生はもちろん、日本語専攻でなくても、ニーズに合ったスタイルで日本語が学べます。

歴史・文化のクラスは日本語と英語で提供され、フィールドワークの機会も豊富です。自分の専攻や興味と合った日本人学生向けの授業を履修することもできます。

【修了要件】
各学期 選択必修科目２単位を含む合計１４単位以上の単位を修得すること

【修了に必要な科目】
必修科目：なし

選択必修科目：
この中から毎学期２単位以上選んで履修する
・日本の文化Ⅰ・Ⅱ　・日本の歴史Ⅰ・Ⅱ
・沖縄の文化Ⅰ・Ⅱ　・沖縄の歴史Ⅰ・Ⅱ
・国際共修で学ぶ日本文化（英語）
・国際共修で学ぶ日本史（英語）
・国際共修で学ぶ沖縄の文化（英語）
・国際共修で学ぶ沖縄の歴史（英語）

求める学生像

日本と沖縄に関心を持ち、その理解を深め、ダイバーシティ環境で日本語を広く学び、異文化コミュニケーション能力を身につけ、「日本沖縄アンバサダー」として活躍できる人

学習目標

① 日本と沖縄の社会・文化・歴史を深く理解し、日本語を広く学ぶことによって将来の研究活動や仕事に活かせる知見を身につける。
② ダイバーシティ環境で学ぶことにより異文化コミュニケーション能力を身につける。

語学要件

日本語：問わない　英語：問わない
※日本語または英語で日常的なコミュニケーションができることが望ましい。

	月	火	水	木	金
1	日本語 A	日本語 A	漢字	日本語 A	日本語 A
2	日本語 A	日本語 A		日本語 A	日本語 A
3	国際共修で学ぶ日本文化	文法 A			
4					

時間割モデル（初級レベル）

集中的に勉強することで、基礎的な日本語力を短期間で身につけることができます。
歴史・文化に関する授業は、英語で学ぶこともできます。

時間割モデル（上級レベル）

仕事で使う日本語を実践的に学べる「ビジネス日本語」を受けられるようになります。
また、十分な日本語力が身についていれば、各学部が開講している専門科目を受けることもできます。

□…専門科目

	月	火	水	木	金
1	ビジネス日本語				
2		食品機能化学		聴解 C1	
3	会話 C1	アカデミック日本語 C1	国際共修で学ぶ沖縄の文化		
4		琉球アジア研究入門		読解 C1	観光地理学

Pickup

沖縄の文化

「沖縄の文化」クラスでは、沖縄文化に関するトピックの調査を行って、コンセプトマップを仕上げてから授業に参加します。トピックについて意見交換をして、知識を深めます。歴史的な背景も学びます。
沖縄文化への理解を深めるために、見学や実習などの文化的体験も満載です。

文化体験：かすり織り、歌三線、エイサー、沖縄芝居、シーサー作り、大綱引きの綱作りなど

「沖縄の文化」クラスは日本語で行われます。
このほかに英語で行われる「国際共修で学ぶ沖縄の文化」というクラスもあって、ニーズに合わせて選ぶことができます。

03. コース紹介―グローカルリーダー育成コース

世界と沖縄をつなぐ！

琉球大学の日本人学生や沖縄の地域住民との協働学習を通じて、多様な課題解決に向けてのリーダーシップを修得するためのコースです。

多様性を生きるリーダー

日本を含む世界中の多様なメンバーからなるコミュニティの様々な階層において、他者との関係性の中で自分を見つめ、これからの　時代に自分は何をすべきかを判断し、草の根リーダーとして他者を動機付け、自分のヴィジョンを具現化する能力を養います。

チャンプリンガル

自分のニーズとレベルに合った日本語学習に加え、複言語で提供される日本人との共修科目を履修し、PBL (Project Based Learning) を主体とした協働・交流学習を行います。

【修了要件】

必修科目等については、渡日後の履修指導にて詳しく説明します。各学期合計１４単位以上の単位を修得する必要があります。

【おもな履修科目】

- 個と多様性
- グローカルリーダーシップ論
- グローカル実践演習
- グローカルイノベーション
- グローカル実践研修（インターンシップ）
- 国際共修で学ぶ日本の文化
- 国際共修で学ぶ沖縄の文化
- 国際共修で学ぶ沖縄の歴史　etc...

求める学生像

日本や国際社会で、地域の活性化と国際化に取り組み、日本と出身国の懸け橋となる意欲のある人

学習目標

①グローバルな視野で地域の課題を見出し、貢献するグルーバル市民としての主体性を修得する。
②設定した課題に対する自分の解決策を、その場に最適な言語・手段を用いて明確に他者に伝え、動機づけることができる。
③背景の異なる多様なメンバーと目標を共有し、それを協働により達成することができる。
④社会における自分の役割を批判的、創造的に分析し、発展的に改善することができる。

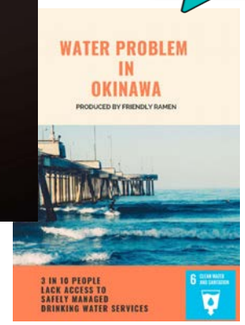
語学要件

日本語または英語で日常会話レベルのコミュニケーションがとれること（CEFR A2 相当以上）

	月	火	水	木	金
1	日本語 A	日本語 A		日本語 A	日本語 A
2	日本語 A	日本語 A		日本語 A	日本語 A
3			国際共修で学ぶ日本の文化		国際共修で学ぶ沖縄の文化
4					国際共修で学ぶ沖縄の歴史
5			個と多様性 / グローカルリーダーシップ論	グローカル実践演習	
＊集中講義（週末）グローカルイノベーション / グローカル実践研修					

時間割モデル（初級レベル）

日本語の勉強をしながら、「グローカル実践演習」などの授業を通して日本人学生や高校生と一緒にプロジェクトに参加します。インターンシップも予定されています。



「グローバル実践演習」で学生が作成した冊子

Pickup

グローカル実践演習

留学生、日本人学生、地域住民の皆さんが協働して地域の課題に取組み、その成果をグローカルフェスティバルとして発表します。

多くの国・地域の言語、習慣、宗教、社会状況、食文化、音楽、パフォーマンス、娯楽等を互いに理解を重ねながら共有し、発表します。ディスカッション、プレゼンテーションも日本語、英語のみならず多くの言語が交じり合うチャンプリンガルで行われ、「だれ一人取り残さない」活動を通じて真のグローカルリーダーとしての資質を養います。

03. コース紹介―日本語教員養成コース

日本語教員として世界で活躍を目指す学生向けのコースです。

日本語教育副専攻の日本人学生と共に複言語主義・複文化主義を理解し実践しながら，専門科目を学ぶことで言語教育能力を伸ばすことができます。科目は体系的に提供されており、言語そのものについてから教授法までテーマごとに学ぶことができます。留学最終学期には「実習」科目も準備されています。

また、修了要件を満たした上であれば、他の専門科目や語学科目などを履修することもできます。

【修了要件】
各学期 １４単位以上の単位を修得すること

【修了に必要な科目】
必修科目：
・日本語学概説Ⅰ・Ⅱ　・日本語教授法Ⅰ・Ⅱ
・日本語教育学概説Ⅰ・Ⅱ　・日本語教材研究Ⅰ・Ⅱ
・言語教育実習

選択必修科目：
この中から１科目以上選んで履修する
（２科目履修も可能）
・日本語教育各論Ⅰ
・日本語教育各論Ⅱ

求める学生像

複言語主義・複文化主義に根ざした日本語教員として世界で活躍を目指す人

学習目標

①言語教育を通して多様性に寛容で平和な社会の構築と発展に寄与する人を育てる。

②言語や文化を相対化して考える能力を伸ばす。

③ 言語教育を実践する基礎能力を身につける。

語学要件

日本語：JLPT N2 以上　英語：問わない

	月	火	水	木	金
1	ビジネス日本語	日本語教材研究		日本語教育各論	
2			日本語教育学概説	言語教育実習	日本の歴史
3		アカデミック日本語 C2		日本語教授法	
4				日本語学概説	

時間割モデル

日本語を教えるために必要な知識を実践を交えながら身につけます。空いた時間に自分の日本語能力を高めるための授業を受けたり、興味のある他の分野の授業を受けることもできます。

…必ず履修する授業です。
これ以外の授業は自由に選ぶことができます。

日本語教員養成コースは１年間のプログラムです。留学期間が半年の場合は修了証が発行されません。

留学期間が半年の学生で、このコースへの入学を強く希望する方は、申請前に国際教育課（inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp）に相談してください。

Pickup

「日本語教授法」から「言語教育実習」へ

日本語教員養成コースでは、日本語教育副専攻のカリキュラムにしたがって段階的・体系的に日本語教育の方法を学びます。

「日本語教授法」では、直接法・間接法など基本的な指導法の理論を学んだ後、受講生である日本人学生や留学生がお互いに教師と学習者になり、模擬授業をします。ここで教案や教材の作成法、授業の運営の知識とスキルを身につけます。「言語教育実習」では、受講生一人ひとりが教える言語を選んでコースをデザインします。他の受講生に対してレディネス調査・ニーズ調査・プレースメントテストを行い、シラバスを考え、授業を計画して実際に教えます。

日本語教育副専攻の修了生は日本語教師となって日本国内外で活躍しています。

03. コース紹介―学部／大学院専門コース

自らの専門分野について、さらに理解を深めたい学生向けのコースです。

学部学生は各学部で開講されている専門科目や関連する共通教育等科目を履修し、大学院学生は主にゼミで研究活動を行います。同じ専門分野を学んでいる日本人学生と共に研究に取り組むことで、柔軟な発想や新たなアイデアを育むことができます。

学部学生向けの授業はほとんど日本語で行われるため、原則として JLPT N2 以上の日本語能力が求められます。どの授業を選択するかについては、入学後、受入れ教員に相談して決めることになります。

学部

- 人文社会学部
- 教育学部
- 医学部
- 工学部
- 国際地域創造学部
- 理学部
- 農学部

大学院

- 人文社会科学研究科
- 地域共創研究科
- 教育学研究科
- 医学研究科
- 保健学研究科
- 理工学研究科（理学系・工学系）
- 農学研究科

理工学研究科・保健学研究科では英語で授業や研究指導を受けることができます。

琉球大学で学習・研究ができる専門分野については、各学部のウェブサイトからご確認ください。（リンク先は 5 ページ参照）

求める学生像

各学部又は研究科で専門分野について研究したい人

学習目標

①各学部・各研究科における自らの専門分野に関する学修を行う。

②異なる背景を持つ日本人学生と協働で研究にあたることで、柔軟な発想と新たな視点を備えた研究力を養成する。

語学要件

原則として JLPT N2 以上の日本語能力を有する者。
あるいは、受入教員が指導可能な言語（英語等）で修学が可能な者。
※受入学部・研究科・プログラムによって要件が異なる場合があるため、申請前に問い合わせること。

受入れ教員

学生の専門分野について研究指導ができる教員が「受入れ教員」となります。
希望する受入れ教員がいる場合は、申請書に記入してください。

希望する専門分野によっては受入れができない場合があり、コース変更を依頼される可能性もあります。
学部専門コース及び大学院専門コースへ申請する方は、事前に国際教育課（inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp）にご相談ください。

	月	火	水	木	金
1	ビジネス日本語			工学概論	技術英語
2					
3		アカデミック日本語 C2		聴解 C2	
4			沖縄の文化		
5	Faculty of Engineering				

時間割モデル（学部専門コース・工学部）

自分の専門分野に関する学部専門科目（= 選択必修科目）を毎学期最低 6 単位以上履修します。
その他の科目については、自由に選んで履修することができます。

大学院専門コースは授業の履修ではなく研究活動を行います。受けたい授業がある場合は、受入教員に相談が必要です。

□…専門科目

修了要件

（学部専門コース）各学期選択必修科目 6 単位を含む計１４単位以上の単位を履修すること
（大学院専門コース）研究活動（講義を含む。）を週十時間以上行う。

Pickup

学部専門コース―日本語・日本文化研修コース
（国際地域創造学部国際言語文化プログラム　日本文化コース提供）

国際地域創造学部　国際言語文化プログラムでは、自国において日本語または日本語・日本文化に関する教育を行う学部・研究科に所属している学生を対象に、独自のコースを提供しています。

求める学生像

自国の大学で日本語を専攻または日本語・日本文化に関する教育を行う学部・研究科に所属し、高度な日本語力の修得と日本社会・文化に対する体系的な専門知識を身につけることを目的とする学生、またはその研究を主な目的とする学生

学習目標

①教室の中だけでなく、見学や体験学習を通して自ら考え、学ぶ自主性を持つこと。

②日本語や日本文化を専攻している学生のコースで文学や言語学、社会事情、時事日本語、日本・沖縄文化の歴史や背景を深く掘り下げて学ぶことで、高度な日本語力を習得すること。

語学要件

原則として JLPT　N2 以上の日本語能力を有する者。あるいは、受入教員が指導可能な言語（英語等）で修学が可能な者。

時間割モデル

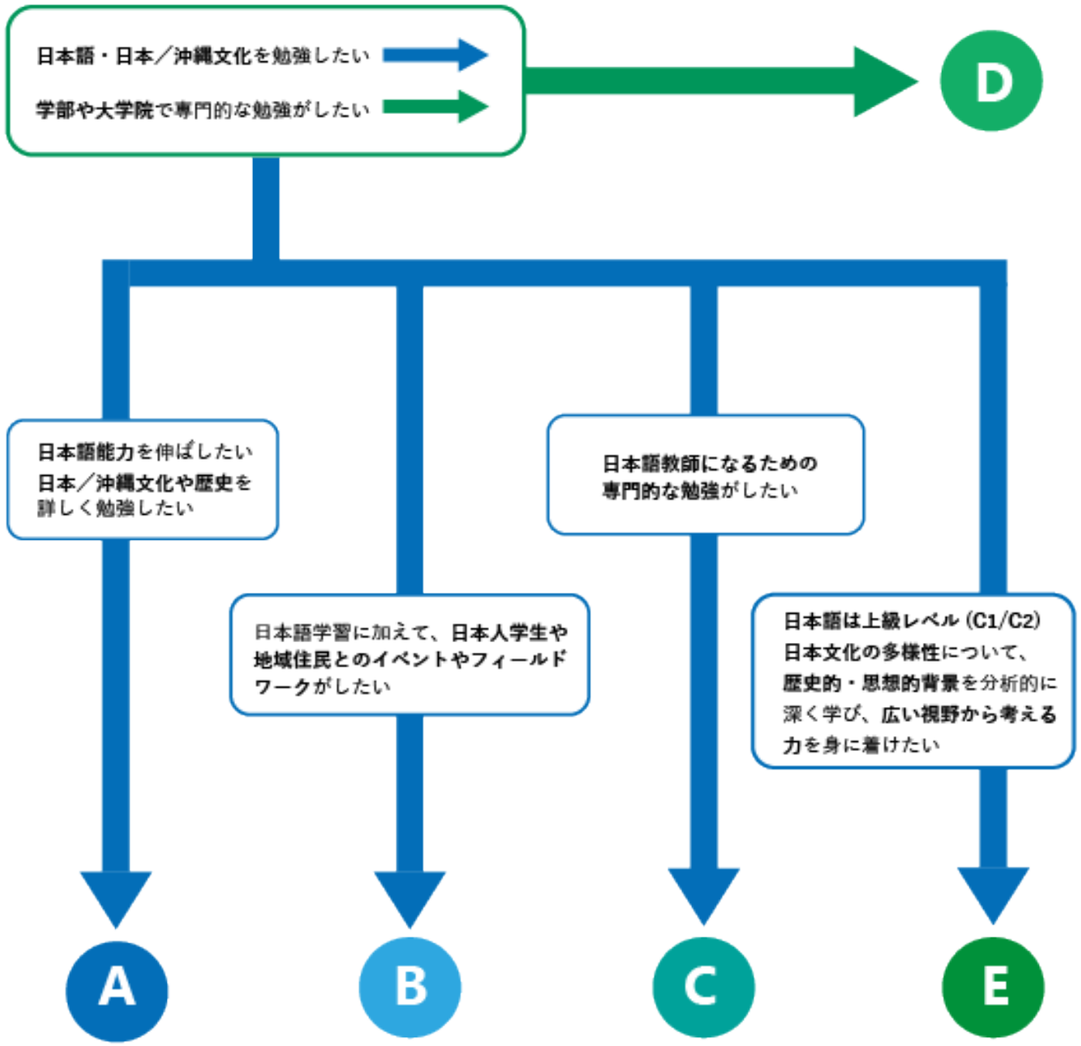
□…専門科目

	月	火	水	木	金
1	ビジネス日本語				
2	国際事情 II	日本文化論 II		日本文化特別研究 II	日本語文章表現 II
3		会話 C1	琉球文化特別研究 II		
4	日本語演習 II				社会調査法
5				日本語作品講読 II	

日本語上級者（C1 または C2 レベル）向けのプログラムです。
※日本語や日本文化を専攻している学生でも主に日本語のレベルアップが目的の学生は 「日本・沖縄学習コース」に申請してください。

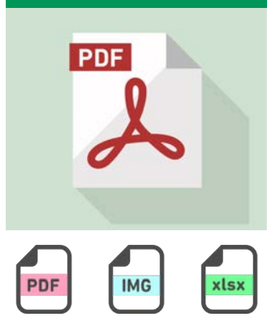
04. 出願手続き

まずはコースを選びましょう！　あなたに合うコースは？



- **A** 日本・沖縄学習コース
- **B** グローカルリーダー育成コース
- **C** 日本語教員養成コース
- **D** 学部専門コース／大学院専門コース
- **E** 学部専門コース（日本語・日本文化研修コース）

出願書類



Form 1 はスキャンせず、入力フォームがアクティブ（編集可能）な状態で保存・提出してください。

- (1) 申請書類（Form 1 ～ 5）
- (2) 推薦書
- (3) 学業成績証明書（応募者の在籍校で発行されたもの）
- (4) 在籍証明書（応募者の在籍校で発行されたもの）
- (5) 写真データ（上半身、無背景・背景色は白、グレーまたは青）
- (6) パスポートのカラーコピー（個人情報が記載されているページ）
- (7) 在留資格認定証明書交付申請書　※ Excel 形式で提出してください
- (8) 経済能力を証明する書類（Form3 参照）

申請書類は下記のウェブサイトからダウンロードできます。
http://isu.u-ryukyu.ac.jp/?lang=en

提出期限

2025 年 4 月から留学：**2024 年 10 月 31 日（木）**締め切り
2025 年 10 月から留学：**2025 年 3 月 31 日（月）**締め切り

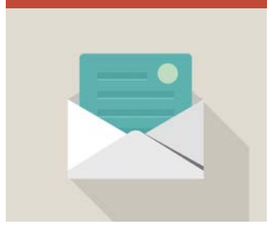
提出方法・提出先

提出書類は、在籍大学の担当者を通して全てメールで提出してください。

郵送する必要はありません。

【メール提出先】
琉球大学　国際教育課留学交流係　inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp

結果通知



入学の可否については、応募者の在籍する大学の学生交流担当者あてに通知します。

申請書類は、在籍大学の学生交流担当者から提出してください。

学生本人が直接 琉球大学へ提出した場合には申請書類は受理されないため、注意してください。

05. 奨学金制度

奨学金の採否については、短期交換留学プログラム入学の可否とあわせて通知します。奨学金に採用されなかった学生でも、本人が希望する場合かつ必要経費を賄える場合は、自費による留学も可能です。
※奨学金情報は 2024 年度のものであり、支援額、応募資格及び要件は変更になることがあります。

JASSO（日本学生支援機構）海外留学支援制度

支 援 額：**月額 80,000 円**
支援期間：**最長 11 か月**（受入期間によって異なる）

留学生交流の拡充と、相互の教育・研究水準の向上、相互理解と友好親善を増進するため、留学生への支援を行います。

支給要件

琉球大学と学生交流協定等を締結している諸外国の大学の正規課程に在籍する学生で、次の要件をすべて満たす者
(1) 日本と国交を持つ国の国籍を有すること。なお、台湾、パレスチナの学生も対象とする。
(2) 日本国籍を持っていないこと
(3) 学生交流に関する協定等に基づき、受入れ大学が受入れを許可する者
(4) 在籍大学における学業成績が優秀で人物等に優れている者
　※ JASSO の定める方法で求められる前年度の成績評価係数（3.00 満点）が 2.30 以上
(5) 経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
(6) 日本での留学期間終了後、在籍大学に戻り学業を継続する者又は在籍大学の学位を取得する者
(7) 日本への留学にあたり、「留学」の在留資格を確実に取得し得る者
(8) 日本への留学にあたり、他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額の合計額が 8 万円を超えない者

2024 年時点では、「グローカルリーダーシップコース」及び「学部／大学院専門コース（日本語・日本文化研修コース含む）」の学生及び「大学の世界展開力強化事業（p.25）」による支援を受ける学生のみ申請できます。

琉球大学 QUEST 基金　国際交流支援事業

支 援 額：**月額 80,000 円**
支援期間：**最長 11 か月**（受入期間によって異なる）

琉球大学と外国の大学等との学生交流協定に基づき在籍している外国人留学生に対し、奨学金を支給することにより、外国人留学生の受入れを促進するとともに、大学間の協力及び連携の強化を図ることを目的としています。

琉球大学 後援財団　国際交流奨励事業

支 援 額：**月額 60,000 円**
支援期間：**最長 10 か月**（受入期間によって異なる）

琉球大学の学生交流協定に基づく外国人留学生受入れを支援することにより、琉球大学の国際交流の促進及び協定校との交流の充実に資することを目的としています。

Pickup

大学の世界展開力強化事業による支援

下記の大学から推薦された学生のうち、特に成績優秀な者に対し、JASSO 奨学金に加えて渡航費の一部支援及び留学中の宿舎費の補助を行います。世界展開力強化事業により支援を受けた学生には、海外の協定校とのオンライン授業や、当プロジェクトが開催する各種イベントに積極的に参加していただくことになります。

対象校

- **ハワイ大学ヒロ校**
- **カウアイ・コミュニティカレッジ**
- **カピオラニ・コミュニティカレッジ**
- **国立東華大学**
- **中國文化大学**

申請方法

短期交換留学申請書（Form1）p.11 にある「JASSO 奨学金希望あり」の欄にチェックを入れてください。この支援を受けるために申請書を書いたり、国際教育課にメールする必要はありません。

06. 学生生活——宿舎

宿舎

短期交換留学生は、原則として大学内に設置されている国際交流会館または千原寮に入居することになります。
各宿舎の空き室状況等によっては希望した宿舎に入居できない場合があります。その場合、厳正かつ公正な抽選によって、入居可能な宿舎の割り当てを行いますが、割り当てられた宿舎への入居を希望しない場合は、学外の民間アパートへの入居を検討する必要があります。

宿舎の場所とよく行く建物との位置関係

① 国際交流会館
② 千原寮
③ 国際教育センター
（日本語の授業を受ける建物）
④ 国際教育課事務室
⑤ 中央食堂
⑥ 北食堂

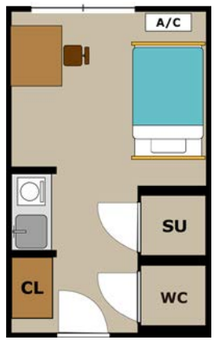
千原寮：
棟は男女別
日本人学生と共住

国際交流会館：
男子も女子も同じ棟で生活
居住者は留学生・研究者

A/C…エアコン
CL…クローゼット
CA…キャビネット
SB…靴箱
S……本棚
T……テーブル
F……冷蔵庫
SU…シャワー室
UB…ユニットバス
WC…トイレ
W & D…洗濯機・乾燥機

千原寮　新棟

家賃：¥25,000/ 月
管理費：¥5,000 / 月
ガス・水道・電気料金：実費 / 月
室内設備：
机・椅子・ベッド・キッチン・トイレ・シャワー・エアコン
共同設備：
洗濯機・乾燥機・エレベーター



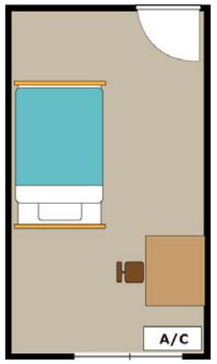
千原寮　新混住棟

家賃：¥20,000 / 月
管理費：¥5,000 / 月
ガス・水道・電気料金：実費 / 月
室内設備：
机・椅子・ベッド・トイレ・シャワー・キッチン・エアコン
共同設備：
洗濯機・乾燥機

千原寮　一般棟（タイプ 1）

（紫陽花 A/C ・南星 A・北辰 A/C・海邦 A/C）

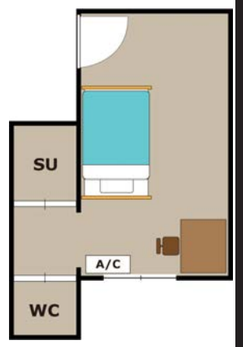
家賃：¥10,000 / 月
管理費（ガス・水道含む）：¥9,400 / 月
電気料金：実費 / 月
室内設備：
机・椅子・ベッド・エアコン
共同設備：
キッチン・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機・シャワー・トイレ



千原寮　一般棟（タイプ 2）

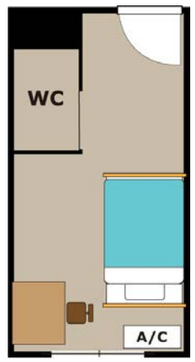
（紫陽花 B ・北辰 B）

家賃：¥15,000 / 月
管理費：¥5,000 / 月
ガス・水道・電気料金：実費 / 月
室内設備：
机・椅子・ベッド・シャワー・トイレ・エアコン
共同設備：
キッチン・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機



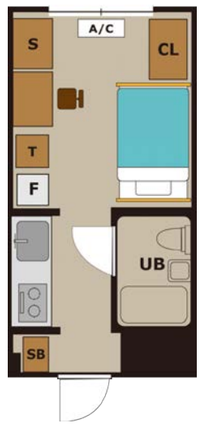
千原寮　混住棟

家賃：¥15,000/ 月
管理費（ガス・水道含む）：¥9,400 / 月
電気料金：実費 / 月
室内設備：
机・椅子・ベッド・トイレ・エアコン
共同設備：
キッチン・冷蔵庫・シャワー・洗濯機・乾燥機



国際交流会館　シングルルーム

家賃：¥15,000 / 月
管理費：¥3,000 / 月
掃除料：¥19,800 / 年
ガス・水道・電気料金：実費 / 月
室内設備：
本棚・机・椅子・ベッド・エアコン・キッチン・冷蔵庫・シャワー室・トイレ
共同設備：
洗濯機・乾燥機



※清掃費等は、金額が変更となる可能性があります。

06. 学生生活――生活費・その他の経費

生活費

沖縄は、日本国内では比較的物価が安い地域ですが、毎月の生活費として、月額８万円程度は必要です。そのため、奨学金が支給されない場合、相応の準備をしておくことが求められます。
授業期間中は、予習、復習及び課題作成等をする必要があり、アルバイトとの両立は困難です。また、外国人留学生の場合、渡日から一定期間が経過しなければ銀行口座の開設ができないため、海外送金に不便を期すことも予想されます。来日時には２～３か月分の生活費となる現金や日本でもすぐ利用できるクレジットカードを準備しておいてください。

国民健康保険

国民健康保険制度とは、病気や怪我の際の財政的な補助を行う制度です。保険料は、年額約 16,000 円です。保険証を持っている者が病院で医療行為を受ける場合、病院窓口に保険証を提示することで医療費の 70% を保険がカバーしてくれるため、本人負担額は 30% となります。なお、短期交換留学生は来日直後に必ず国民健康保険に加入しなければなりません。

学生傷害保険

琉球大学では、万一の事故やケガに備えて、留学生に学生傷害保険への加入を勧めています。
学生傷害保険は、「学生教育研究災害傷害保険（授業中、学校行事中、大学にいる間、または通学中におけるケガ・事故に対し、医療保険または死亡保険が支払われる）」と、「学生教育研究賠償責任保険（日本国内外における正課、学校行事、またはその往復中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を壊したりした場合、損害賠償金が支払限度額の範囲内で支払われる）」によって構成されています。
保険料は、年額で合計 1,340 円程度です。

学生交流協定校一覧 ／ List of Partner Institutions

（2024 年 3 月 5 日現在）　(As of March 5, 2024)

大学間交流協定　University-level Agreements

U.S.A
- Michigan State University
- University of Guam
- University of Hawai'i at Manoa
- University of Hawai'i at Hilo
- University of Hawai'i -Kauai Community College
- University of Hawai'i Community Colleges
- University of Nevada, Reno
- Eastern Michigan University
- University of California, Santa Cruz

Canada
- Memorial University of Newfoundland

Argentina
- National University of La Plata

Bolivia
- Private University of Santa Cruz de la Sierra
- Gabriel René Moreno Autonomous University

Brazil
- University of Sao Paulo
- University of Brasilia

Dominica
- Universidad Iberoamericana

Australia
- James Cook University

Marshall Islands
- College of the Marshall Islands

Palau
- Palau Community College

Papua New Guinea
- University of Papua New Guinea

Samoa
- National University of Samoa

New Caledonia
- University of New Caledonia

Fiji
- University of the South Pacific

Micronesia
- College of Micronesia-FSM

Tonga
- Atenisi University

China
- Central South University of Forestry & Technology
- Fujian Normal University
- Yunnan Agricultural University
- Yanbian University
- Huazhong University of Science & Technology
- The University of International Business & Economics
- Hainan University
- Ocean University of China

Korea
- Keimyung University
- Jeju National University
- Sunchon National University
- University of Seoul
- Yonsei University
- Mokpo National University
- Hoseo University
- Kyonggi University
- Changwon National University

Thailand
- Chulalongkorn University
- Thammasat University
- Khon Kaen University
- Chiang Mai University
- King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang

Indonesia
- Sam Ratulangi University
- Bogor Agricultural University
- Diponegoro University

Vietnam
- Thai Nguyen University
- Hanoi National University of Education

Taiwan
- National Taiwan University
- National Sun Yat-sen University
- National Taiwan Ocean University
- Tunghai University
- National University of Tainan
- National Penghu University of Science & Technology
- Kainan University
- Taipei City University of Science &] Technology
- Chung Yuan Christian University
- Chinese Culture University
- National Dong Hwa University
- Soochow University
- Feng-Chia University
- National Taiwan University of Science & Technology
- Fu Jen Catholic University
- Providence University
- Taipei Medical Uiversity
- National University of Kaohsiung

Laos
- National University of Laos
- University of Health Sciences, Lao PDR

Germany
- Heinrich-Heine Dusseldorf University

U.K.
- The University of Sheffield
- York St John University

France
- French National Institute for Advanced Research
- University of Lille
- University of Toulouse Jean Jaures
- Toulouse Capitole University

Russia
- Far Eastern Federal University

Spain
- University of La Laguna
- University of Las Palmas de Gran Canaria

Kosovo
- University of Prishtina "Hasan Prishtina"

Poland
- University of Gdańsk's

Italy
- Sapienza University of Rome

学部間交流協定 Faculty-level Agreements

以下の大学は一部の学部とのみ協定を結んでいる大学です。学部が指定されている場合、記載されている学部以外の学生は申請できませんので、ご留意ください。

The following institutions have agreements only with specified faculties. Students other than those of the listed faculties are not allowed to apply.

U.S.A
- Fort Lewis College
- Ball State University
  -College of Science & Humanities, Graduate School

New Zealand
- Victoria University of Wellington
  -Faculty of Humanities & Social Sciences

China
- Dalian Polytechnic University
- Xiamen University of Technology -Faculty of Engineering

Korea
- Chungbuk National University
  -College of Engineering
  -College of Electrical & Computer Engineering
- Kyung Hee University
  -College of Foreign Language & Literature
- Korea University
  -College of International Studies
- Kosin University

India
- Madan Mohan Malaviya University of Technology
- Indian Institute of Information Technology & Management, Gwalior

Vietnam
- Vietnam National University of Agriculture

Taiwan
- National Yunlin University of Science and Technology
- Wenzao Ursuline University of Language
- National Quemoy University -College of Management

Mongolia
- Mongolian University of Science & Technology
  -School of Power Engineering

Bangladesh
- Rajshahi University of Engineering & Technology

Sri Lanka
- University of Ruhuna -Faculty of Agriculture

Cambodia
- Institute of Technology of Cambodia

Indonesia
- Udayana University -Faculty of Engineering

Iran
- University of Tehran -College of Engineering

Turkey
- Pamukkale University -Faculty of Engineering

France
- Rennes 1 University,
  -Institute of Electronics & Telecommunications (IETR)

Sweden
- University of Gothenburg -Faculty of Arts

Spain
- University Autonomy of Barcelona
  -Faculty of Translation and Interpretation

UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) アジア太平洋大学交流機構
ISEP (International Student Exchange Programs)

UMAP 加盟校又は ISEP 加盟校からの留学生は、入学検定料、入学金、授業料が免除されます。学費免除を受けられる学生数は授業料の相互不徴収協定により指定されています。

Partner universities of UMAP or ISEP shall be exempted from the entrance examination fee, admission fee, and tuition fees. The number of students eligible for a tuition waiver is specified in the reciprocal tuition waiver agreements.

加盟校については UMAP 及び ISEP のウェブサイトからご確認ください。

Please check the UMAP and ISEP websites for partner universities.

UMAP Website: http://www.umap.org/usco/en/home/index.php
ISEP Website: https://www.isepstudyabroad.org/